Powered BLUE シスログ・サーバー

ログサーバーアプライアンス

&

インターネットサーバー機能

Web/DNS/Mail/ftp

－ Powered BLUE 870 Syslog －

Powered BLUE 870 Syslogの特徴

ログサーバー機能

シスログの受信・転送・保存

機器の認証や暗号化によるログ送受時の「なりすまし&盗聴」防止

インターネットサーバー機能

Web/Mail/DNS/FTP/　サーバー機能を1台で運用

セキュリティ機能

SNI対応（常時SSL化）

SELinux対応（セキュアOS)

仮想・クラウド対応

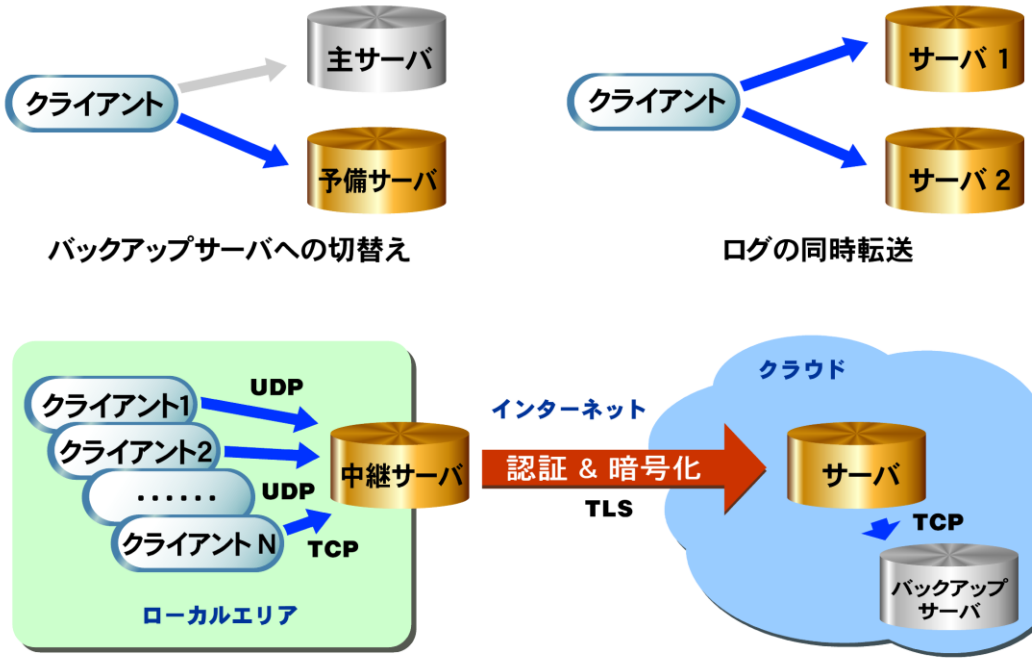
RedHat / CentOS 7.x　(64bit) に対応

VMWare / Hyper-V に対応

アマゾンウェブサービス　(AWS/EC2) 対応

ログサーバー機能 (rsyslog)

ログサーバー機能



既存のサーバ(クライアント)のログをリモートサーバへ送る

1)冗長送信　　最大 3台へ同時 に送信

2)漏洩防止　　TLS(暗号化通信 & 機器認証)

3)欠落防止　　送信キュー によるログの一時保管

ログサーバー機能

機能	内容
UDP/TCP/TLS/RELP	TLSによる暗号化経路での通信に対応
サーバー認証	TLS通信では、クライアンとサーバー間の機器の認証による「なりすまし」も防止
改竄防止	TLS通信では、偽造メッセージの挿入や改竄も防ぎます
動作モード	ログ送信・転送・受信のいずれのモードでも運用可能
ログ冗長送信	最大3台への同時送信
ログ転送	ログの転送時にも、保存が可能
ログ保存	ローテーション回数・保存期間は任意指定・ ログのダウンロード
送信キュー	回線途絶や受信側サーバー不調時は、送信キューへの一時保管によりログの欠落を防止
アラート	キーワード指定によるログのトラップ＆メール通知
対応形式	rsyslog
サーバー証明書	SSLサーバー証明書のインポート機能

ソフトウエア機能 （標準 / フリープラグイン）

項目	有無	内容
http /https Server	○	複数サイトの運用可能
DNS Server	○	
SMTP/SMTPS/POP/POPS/IMAP/IMAPS	○	Postfix・SMTP Auth・Submission port
メールの中継設定	○	ドメイン・アドレスごとの配送設定可能
SNMP / Firewall 機能 / SPF レコード	○	
SNI	○	IPアドレス1個で全WebサイトのSSL化
HSTS	○	httpアクセスをhttps通信への切り替え
仮想サイト管理者での設定	○	仮想サイトごとに権限移譲可能
OSアップデート	○	スケジュールアップデート　対応
CMS	○	WordPress（フリープラグイン）

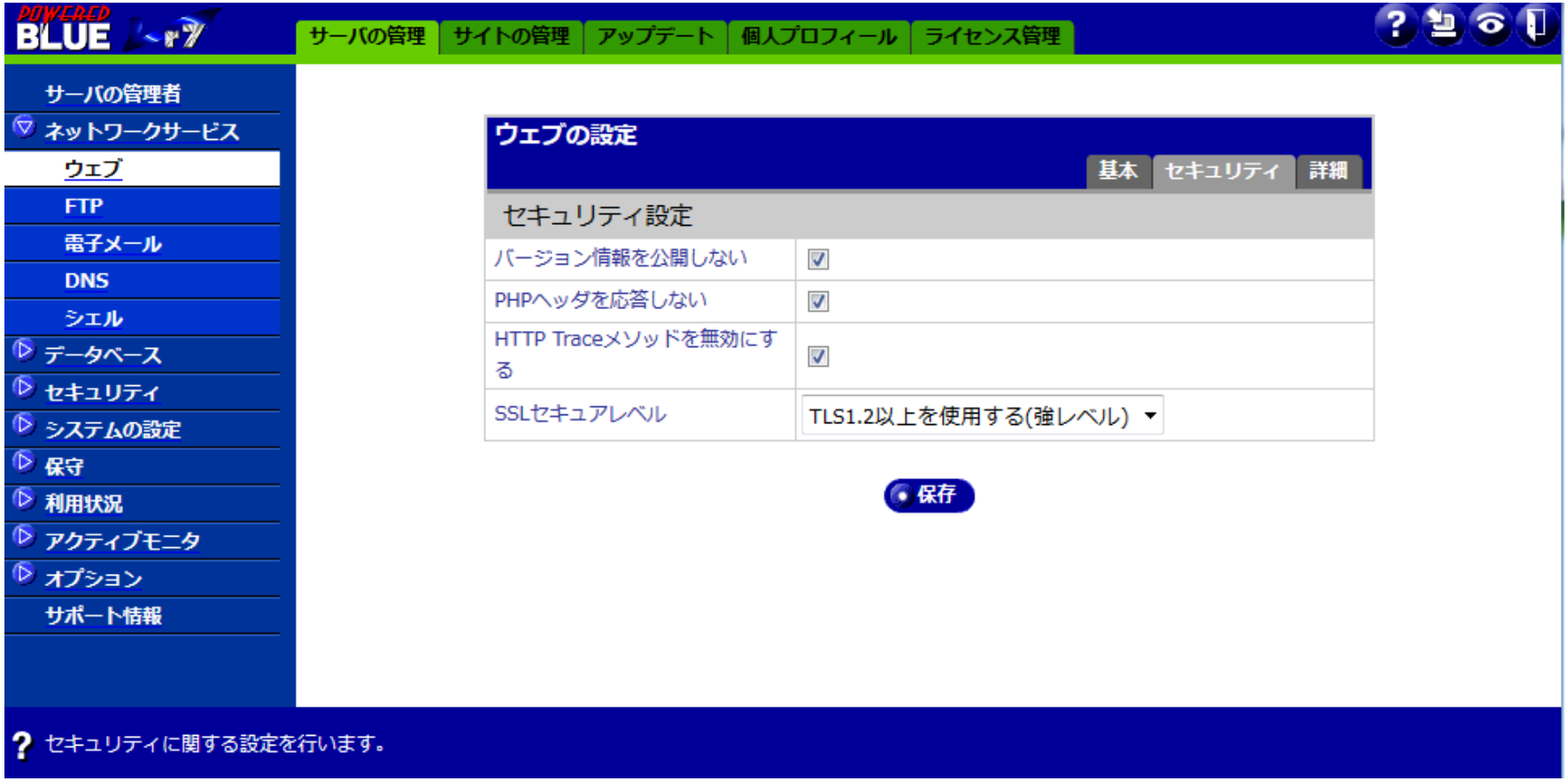
ソフトウエア機能

項目	有無	内容
http /https Server	○	複数サイトの運用可能
DNS Server	○	
SMTP/SMTPS/POP/POPS/IMAP/IMAPS	○	Postfix・SMTP Auth・Submission port
SNMP / Firewall 機能 / SPF レコード	○	
FTP / anonymous FTP	○	
メールの中継設定	○	ドメイン・アドレスごとの配送設定可能
仮想サイト管理者での設定	○	仮想サイトごとに権限移譲可能
OSアップデート	○	スケジュールアップデート 対応
メール添付ファイルZIP暗号化	△	オプション
メール添付ファイルWebダウンロード	△	オプション
大容量ファイルの送受信	△	オプション
Private CA機能	△	オプション
リバースプロキシ	△	オプション

動作環境

OS	**RedHat 7.x (64bit) / CentOS 7.x (64bit)**
仮想環境	VMWareESXi 5.1 / 5.5 / 6.0 / 6.5 Hyper-V 7.X
クラウド環境	AWS (アマゾンウェブサービス / EC2) Azure / 他
ハードウエア アプライアンス	19インチ1U / 他
スペック	1 Core(min) / 512MB mem (min) / 10GB HDD (min) / Ethernet x 1

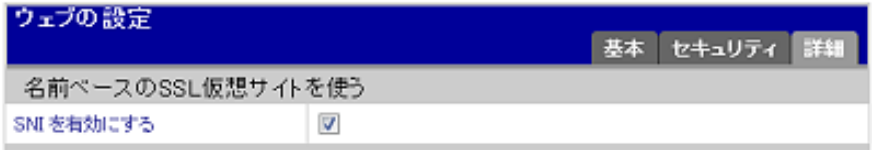
管理画面



1）日本語・英語の2か国語対応
2）パッチなどの自動アップデート機能

常時SSL化対応　セキュリティの強化

■ SNI　(Server Name Indication)　機能



IPアドレス1個で、全WebサイトのSSL化に対応

■ Webバージョンの非公開やSSLセキュアレベルの指定機能

■ HSTS (HTTP Strict Transport Security)対応

httpでアクセスを受けると、次回以降はhttpsでの接続に切り替えて、通信経路の安全を確保する機能

■ SELinux対応(セキュアOS)

簡単運用

システムの動作状況 - 概要

4 エントリ

コンポーネント名	詳細
CPU の使用状況	
ディスクの使用状況	
ネットワークの状態	
メモリの使用状況	

サービスの動作状況 - 概要

8 エントリ

コンポーネント名	詳細
DNS サーバ	
FTP サーバ	
SNMP サーバ	
Telnet サーバ	
ウェブサーバ	
サーバデスクトップ	
サーバ・ライセンス	
電子メールサーバ	

その他の動作状況 - 概要

2 エントリ

コンポーネント名	詳細
アンチウィルス・ゲートウェイ	
電子メールプラス	

色と意味:
- 情報がないか、監視が無効に設定されています。
- 正常に動作中
- 問題発生
- 深刻な問題発生

サーバーのモニタリング＆サービスの自動再起動